

■ 2023年2月の行事案内 ■

観察会と自然復元管理作業

*気象条件等により変更する場合がありますので事前にお問い合わせください。

活動日

2月4日(土) 2月19日(日) 3月4日(土)

季節を感じる観察会：10:00~12:00

自然復元管理作業：13:00~15:30

場所：旧水産試験場管理センター前集合

参加費：100円(保険料代)

持ち物：帽子・タオル・お飲み物・着替え等
(動きやすく汚れても良い動きやすい服装で!)

■ NPO 法人水元ネイチャープロジェクト 入会案内 ■

みなさんも私たちと一緒に水元の自然について考え、保全活動に参加してみませんか？

NPO 法人水元ネイチャープロジェクトでは、活動の趣旨に賛同いただける方の入会をお待ちしています。

<一般会員> 入会金：2,000円 年会費：2,000円

一般会員は、法人の社員となります。年に一度の総会に出席していただき、会の事業や予算の承認など、会の基本的な運営に参加していただけます。

<賛助会員> 入会金：5,000円 年会費：5,000円

賛助会員は、法人などの団体会員です。年に一度の総会に出席していただき、会の事業や予算の承認など会の基本的な運営に参加していただけます。

<どろんこ会員> 入会金：無料 年会費：1,000円

どろんこ会員は、サポート会員です。会の事業に参加でき、総会等に参加する必要はありません。

<行事案内・入会に関してのお問い合わせ>

NPO 法人水元ネイチャープロジェクト

<https://mizumoto-np.jpn.org/>

とんぼ 秋津

2023年2月号

秋津(あきつ)とは、
トンボの古い呼び名。
そして日本は昔、
「秋津島」と呼ばれていました。



<2月>

種名：アトスジグロナミジャク

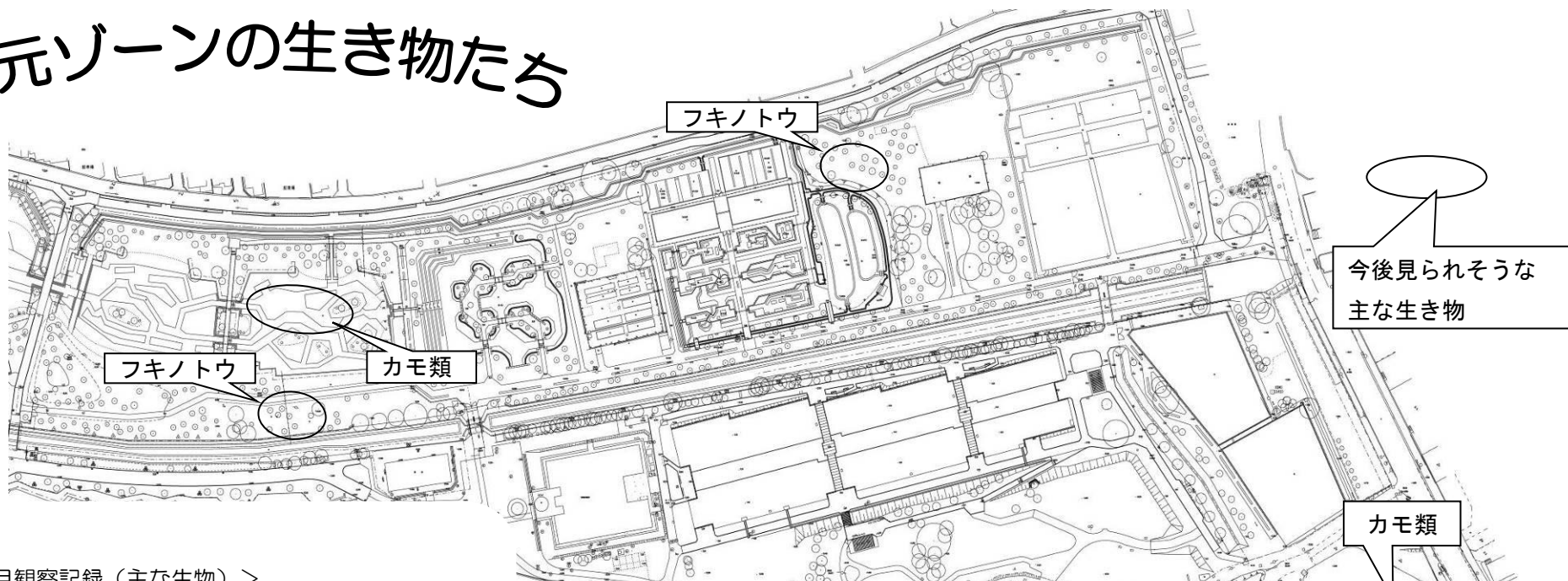
よしえ画

学名：Epilobophora obscuraria

開張は27~30mmで、本州から九州に生息している。成虫の出現時期は5~6月で、幼虫の食餌植物はヒノキ科サワラ、カイヅカイブキである。幼虫は食草の葉にととても似ている。成虫は緑褐色であり目立たない。

NPO 法人 水元ネイチャープロジェクト

復元ゾーンの生き物たち



<令和5年1月観察記録（主な生物）>

○植物：アイオオアカウキクサ、アカザ、アカツメクサ、アメリカカイヌホオズキ、アメリカセンダングサ、イヌガラシ、イヌコウジュ、イヌタヌキモ、ウラジロチチコグサ、ウシハコベ、ウマノスズクサ、エビモ、オオアレチノギク、オオイヌノフグリ、オオバコ、オニタビラコ、オキノゲシ、イ、アメリカオニアザミ、エソノギシギシ、カゼクサ、カタバミ、カモジグサ、カラスノエンドウ、カラスウリ、カラムシ、キカラスウリ、ギシギシ、キュウリグサ、クロモ、コセンダングサ、コニシキソウ、コンフリー、セリ、シロツメクサ、スイセン、ススキ、スズメノカタビラ、セイタカアワダチソウ、セイバンモロコシ、セイヨウタンポポ、タウコギ、タコノアシ、タンキリマメ、チカラシバ、ヌカキビ、ノゲシ、ノビル、ノボロギク、ナガバギシギシ、ナスナ、ハコベ、ハハコグサ(ロゼット)、ヒナタイノコツチ、ヒメムカシヨモギ、フキ、ヘラオオバコ、ヒメオドリコソウ、ハルジオン、ホトケノザ、タネツケバナ、ヘクソカズラ、マコモ、マツカサススキ、マツモ、ミソコウジュ、メマツヨイグサ、ミドリハコベ、ヤナギタデ、ヨシ、ヨモギ、ヤブジラミ、チチコグサ、フラサバソウ、ヨメナ、シロバナタンポポ、チゴザサ

○昆虫類：ムラサキシジミ、ミノガ(種名不明)、オオミノガ、アシナガバチ、ニホンミツバチ、ハラビロカマキリ、オオカマキリ、ナナホシテントウ、ナミテントウ、アシナガグモ、コガタコガネグモ、ムカデ、ヤスデ

○鳥類：アオサギ、オオバン、オナガ、カイツブリ、カルガモ、カワウ、キジバト、コサギ、シメ、スズメ、セグロセキレイ、ダイサギ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヒドリガモ、ヒヨドリ、マガモ、ムクドリ、コガモ、メジロ、ウグイス、モズ、アオジ、シジュウカラ、カワラヒワ、キセキレイ、ジョウビタキ、ツグミ、ワカケホンセイインコ